



特別支援教育は、日本の学校教育において、障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加への主体的な取り組みを支援するための指導及び支援を意味する概念。英語表記は **special needs education**、または **special support education**、**exceptional student education** など。文部科学省が提起している特別支援教育の定義を受けて JSKL の特別支援教育体制が確立されています。令和5年度 JSKL 特別支援教育体制を参照してください。（ホームページ）ここで、本校に設置されているその中の通級指導教室について御紹介します。

通級指導教室による指導とは、小学校又は中学校の通常の学級に在籍している軽度の障がいのある児童生徒に対して、主として各教科等の指導を通常の学級で行いながら、障がいに応じた特別の指導を特別の指導の場で行う指導形態です（学校教育法施行規則第73条の21及び同施行規則第73条の22）。学校教育法施行規則第140条の各号のいずれかに該当する、小学校・中学校に通い特別支援学級に在籍していない児童・生徒で、障がいに応じた特別の指導を行う必要がある場合、通級による指導の対象となります。

・視覚障がい・聴覚障がい・肢体不自由・言語障がい・自閉症・情緒障がい・学習障がい・ADHD（注意欠如、多動性障がい）・病弱および身体虚弱

「情緒障がい」とは情緒の現れ方が偏っていたり、その現れ方が激しかったりする状態を自分の意志ではコントロールできないことが継続し、学校生活や社会生活に支障となる状態を指します。具体的には心理的な要因による選択性かん黙（場面緘黙症）などが含まれます。

◇JSKL の通級指導教室では、一人ひとりの障がいの状況に応じた具体的な目標や計画を立て、特別の教育課程を編成して指導が行われます。特別支援学校小学部・中学部学習指導要領を参考にした自立活動では障がいによる学習上・生活上の困難を改善するための指導が行われます。特に必要があるときは、これに加えて児童・生徒の障がいの状態に応じて各教科の内容を補充するための指導を行うこともできます。この「教科の補充」は、単に授業の遅れを補習するということではありません。ですが、その子にあった方法で教科を学び、学習上の苦手を克服する必要がある場合に行われます。例えば言語障がいのある子どもが音読が苦手で国語の授業ができない場合に読む練習をしたり、算数障がいのある子どもが筆算しやすいようにマス目のあるプリントでかけ算を学んだりする場合があります。

一人ひとりに合った指導が受けられ、子ども一人ひとりのニーズに合わせるため、「個別の教育支援・指導計画」が作成され、通常級と通級のお互いの教員が連携し十分な協議を行って支援を進めています。

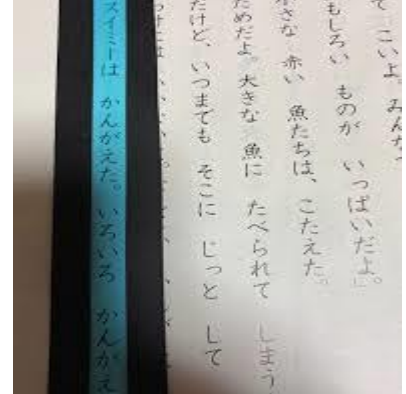
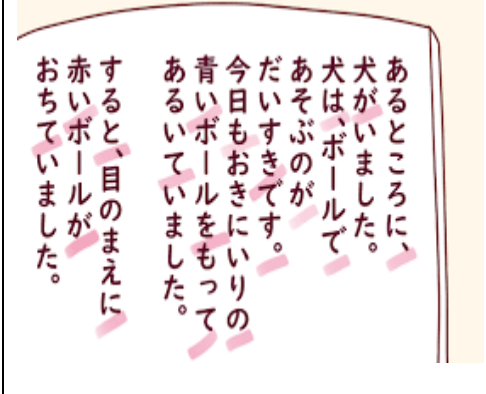

通常学級で支援が必要な子どもたち



ADHD（注意欠如多動症）とは？

主症状	よく見られる行動の様子	原因として考えられこと
①不注意	ケアレスミスをする、注意散漫、整理整頓が苦手、忘れ物が多い	ワーキングメモリが低い（複数の情報の記憶の保持ができない） →情報の抜けが多くなる（マルチタスクが難しくなる）
②多動性	手足がもじもじしている、机に座ってられない、おしゃべりがとまらない、静かに遊べない	実行機能のワーキングメモリの低下（新しく入れた情報を優先し、古い情報を保持できない） →目の前のものや出来事や新しい情報に反応し続ける（=多動・じっとできない）
③衝動性	順番を待てない、人の列に割り込む、突然怒る、相手の質問中に答える	実行機能の自己抑制機能の低下、報酬系機能障がい →我慢できずに行動してしまう

■支援の方法は、いろいろありますが、その子のニーズや実態に合わせて行っています。

言葉遊び	文字の音声化①	文字の音声化②
「しりとり」 りす→？ 「反対言葉」 あなこんだ→？ 拗音は一文字として処理	絵本読み聞かせ（音→文字） 音読（文字→音）※難易度高め	歌を覚える→歌詞（音→文字） 暗唱→詩の音読（音→文字） オーディオブック→本（音→文字）
リーディングスラッガー	スラッシュ法	マーカー・囲み法
		

・教師や友達に自分の考えやおもいを話すことが困難な子

○教師がその子の話したい気持ちを受け止め「～ということかな」と補う。発言や話合いの仕方をまとめたマニュアルカードを用意する、小グループでの話し合い場の設定から段階的に行う。気持ちや考えを表すことができる表情カードなども活用させる。

・板書を書きうつすことが苦手な子

○IPADなどで黒板を撮影し書き写さなくてよい状況を作る。具体物や視聴覚機器の活用で静止画像の提示。